



トピックス

新生児の免疫について



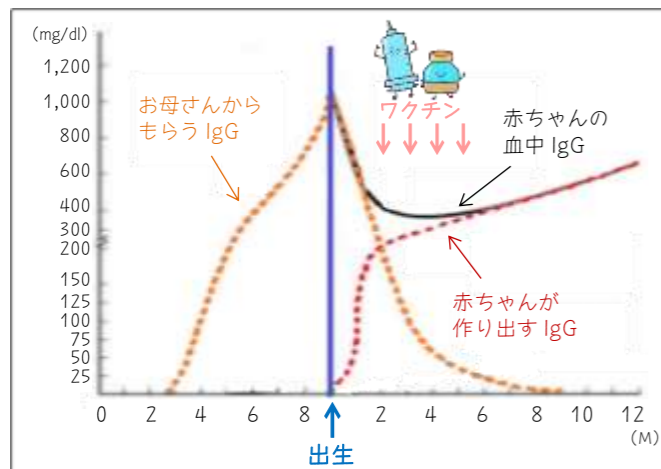
胎児は母親の胎内にいる間、無菌状態の羊水のなかで様々な感染症から守られていますが、生まれ落ちたその瞬間から細菌やウイルス、真菌などの病原体にさらされることになります。免疫防御機能が十分に備わっておらず、肺や心臓などの臓器の機能も不十分な状態である新生児は、感染症にかかると容易に重症化し、医療の発達した現代でも注意が必要です。

人間は様々な免疫機構を持っており、自分の体が病原体により病気になることを防いでいますが、その免疫機構の一つに液性免疫というものがあります。これは細菌やウイルスに対する抗体であるIgG（免疫グロブリンG）が、体内に侵入してきた病原体を破壊するというものです。この抗体（IgG）は体内で必要に応じて産生されますが、そのためには今までにその病原体と接触したという記憶が、免疫システムに残されていることが必要です。生まれたばかりの新生児はどうかといいますと、胎内において無菌状態で過ごしてきたため、病原体と接触する機会がなく、自分で作った抗体は持たない状態で生まれてきます。

このままでは、お母さんのお腹から出てきたばかりの新生児は、感染症に対する抵抗力が全くない状態ということになり、様々な感染症からのリスクにさらされることになります。しかし、新生児は胎児期に胎盤を通して母親が持っている抗体を大量にもらいます。この優れたシステムにより新生児早期の感染症に非常に弱い時期は、感染症からしっかりと守られています。しかし、母からの抗体は生後2、3ヶ月経つと無くなっていくため、その後は赤ちゃん自身で抗体を産生し、自分の体を守っていく必要があります。一般的には、生後2ヶ月から定期予防接種が開始となりますが、母からもらった抗体が少なくなる頃に接種を開始することで、髄膜炎や肺炎などの

重篤な感染症を起こす病原体に対する抗体を自分で産生し予防することが可能になります。乳児下痢症の原因となるロタウイルスを始め、肺炎球菌や髄膜炎菌、結核、百日咳、ジフテリアなどに対する予防接種は定期接種として無料で接種ができます。重篤な感染症から子供達を守るために、スケジュール通りに予防接種をしてあげましょう。もし、スケジュールがよくわからない場合は、かかりつけのお医者さんに確認してみましょう。

新生児科 診療部長 長谷川 恵子



免疫グロブリン血中濃度の出生前後の変化

マクニレシヤ

カルシウムは1日650mg必要とされています

カルシウムもいれしび

スキムミルクはカルシウムを多く含むため、加えるだけでカルシウムを強化することができます。ビタミンDはカルシウム吸収を助け、魚類や特定のキノコ類に豊富に含まれています。一緒にいただくことで相乗効果アップ！フライパン1つでささっと作ることが出来ますよ。冷凍ブロッコリーの使用で、時短にも◎

材料 (2人分)

・ご飯	260g	・水	160ml
・鮭	120g	・牛乳	260ml
・エリンギ	1/2パック	・スキムミルク*1	大さじ4
・ブロッコリー	1/4株 (80g)	・コンソメ	3g
・オリーブオイル (サラダ油でも可)	小さじ1	・塩、コショウ	少々
・おろしニンニク	小さじ1/2		

*1 スキムミルクが無い場合は豆腐と粉チーズで代用できますよ



カルシウムたっぷりソルト

***1 スキムミルクの代用法 (2人分)**

・木綿豆腐	100g	豆腐は水気を切って④で加え、
・粉チーズ	大さじ2 (14g)	粉チーズは⑤で加えても美味しく仕上がります♪

◎ 栄養情報 (1人分) 【1日の推奨量】

・エネルギー	491 kcal	
・タンパク質	27.8 g	【50g】*2
・脂質	12.3 g	
・炭水化物	66.2 g	
・カルシウム	304 mg	【650mg】
・食塩相当量	1.5 g	

*2 中期+5g, 後期+25g

- 作り方**
- 炊いたご飯を用意する。
 - 鮭はスプーンなどで適当にほぐし、エリンギは3cm程度の長さに切る。ブロッコリーは茹でておく。
 - フライパンにオリーブオイル（サラダ油でも可）を温め、おろしニンニク、ほぐした鮭を加え中火で炒める。
 - 鮭の色が変わったら、エリンギを加え炒める。
 - エリンギがしんなりしたら、④、ご飯を加え、5~10分弱火で煮る。
 - 茹でたブロッコリーを加えて混ぜ、塩コショウで味を調える。

【レシピ提供】山口県立大学 看護栄養学部 栄養学科 実習生

センター稼働状況

分娩数	47件	緊急帝王切開	4件
母体搬送	2件	NICU稼働率	75.0%
新生児搬送	0件	MFICU稼働率	69.9%

(令和2年10月)

『やきいも やけたかな?』 編集後記



紅葉が見頃になってきました。11月に入り、各地で新型コロナウイルスの感染者人数が増加しています。大切な家族や周りの方々に感染を広げない為に、私たち一人ひとりが気を引き締めなおし、今一度、感染予防対策を徹底しましょう。
 (K.F☆N.S☆Y.M☆K.H.)



周産期センターキャラクター Mami & Mei